

なつ やす ぶん めく かん しょう 夏休み文楽鑑賞のつどい

平成30年7月27日(金)

正面開場:午前10時00分

(開演:午前11時00分 終演:午後1時20分予定)

(途中に休憩がございます(約25分程度))

うりこひめ
演目① 瓜子姫とあまんじやく

ぶんめく
解説 文楽ってなあに?

ぞう様 おおえやま
演目② 増補大江山

～全労済大阪推進本部からのご案内～

■お申込方法、チケットの入金方法などは<全労済大阪推進本部ホームページ>「地域からのお知らせ(大阪推進本部)」をご覧ください。

■ホームページ受付フォームに入力いただいた個人情報は、このイベントのチケット郵送のため大阪府生活協同組合連合会に提供されます。

お問い合わせ先

〒540-0012 大阪市中央区谷町2-3-4

全労済大阪推進本部 事業推進部 事業推進二課 岡副(おかぞえ)
(全大阪労働者共済生活協同組合)

TEL.06-6943-6450 平日9:00～17:00(土・日・祝日は除く)

保障のことなら

全労済 大阪

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

座席指定券：おひとり1,900円〈生協特別料金〉

参加対象：4才以上(3才以下のお子様は入場できません)

●ご入場にはおひとり西1枚の整理券が必要です。

●大人の方のみでも申込みいただけます。●座席指定のご要望はお受けできません。
●お申込多数の場合は抽選となります。



会場：国立文楽劇場

大阪市中央区日本橋1-12-10 06-6212-2531(代)

地下鉄・近鉄「日本橋」駅下車7分出口。東へ徒歩1分
駐車場がございませんのでお車の来場はご遠慮ください。

●主催／大阪府生活協同組合連合会 ●後援／大阪府

夏休みは文楽を観に行こう!!

今年も待ちに待った「夏休み文楽鑑賞のつとめ」の季節がやってきました。

文楽は、大阪人が育てた、日本を代表する伝統芸能の一つです。太夫と三味線が演奏する音楽(義太夫節)と、三人の人形遣いが一つの人形を操る舞台が一体となり、物語が進行します。

今回、上演しますのは、山にすむあまんじゃくのすこし不思議なお話「瓜子姫とあまんじゃく」と、渡辺綱が都で鬼を退治するお話の「増補大江山」です。わかりやすい解説も付き、人形浄瑠璃文楽の魅力を満喫していただけます。

うりこひめ 瓜子姫とあまんじゃく

ふかいふかい山奥に、瓜子姫はじっさとばっさと一緒に住んでいました。瓜子姫は、機織りが大好きです。今日は、じっさとばっさが町へ出かけたので、唄いながらひとりて布を織っています。するとあまんじゃくという、まねっこ好きの妖怪が近づいてきました。瓜子姫は恐ろしさをこらえて布を織り続けますが、あまんじゃくは瓜子姫に「遊ぼう」と呼びかけます。はじめは黙っていた瓜子姫ですが、ついに我慢できなくなって一言答えた途端、あまんじゃくは瓜子姫のものを始めとしまします。ものまねをいやがる瓜子姫に腹を立てたあまんじゃくは、瓜子姫を抱え、ものすごい勢いで家を飛び出し山へ帰ってしまいました。瓜子姫は無事に家に帰ることができるのでしょうか。



イラスト:中西らつ子

解説 文楽ってなあに?

人形浄瑠璃文楽ってなあに? 大阪の人々が江戸時代から楽しんできた人形芝居で、物語を語る義太夫節という音楽に合せて、人形を操ります。1つの人形を3人の人形遣いが操る「三人遣い」という演じ方で、世界でも珍しい演劇です。舞台の上で出演者がわかりやすく、文楽について説明します。

特別に文楽人形を操ることができるかも…?

ぞうば おおえやま 増補大江山

京の都に古くから伝わる伝説をもとにしてつくられた物語です。源頼光の家来渡辺綱は、人々を襲うという悪鬼を退治しようと、都の警邏に勤めています。ある夜、一条戻り橋のたもとで、若菜という女性に出会います。夜道をこわがる若菜を送り届けようとする綱でしたが、水に映る若菜の顔を誤って正体を知ります。

さて、若菜の正体は?



イラスト:中西らつ子

[注目]

- ・イヤホンガイド(音声の同時解説)は、「物語のあらすじ等をくわしく解説してくれる」と大好評です。高校生までの方は1,000円(保証金)/大人1,650円(うち保証金1,000円)でご利用いただけます。※保証金は受信器返却時にお返しします。

